

はじめての親子キャンプ教室（6/7月）持ち物

持ち物	説明
着替え	汚れてもよいもの。気温は日中が20～25℃、夜間は20℃を少し下回るイメージとなります。アウトドアにはいい季節ですが、天候にも左右されるため、直前の天気予報をご確認ください。 トイレに行きにくくなる子もいます。不安がある場合は下着は多めに持参してください。
パジャマ	こだわりがなければ不要です。スウェットやジャージ等のほうが、汚れても気にならず、保温性も高く、使い勝手が良いでしょう。
防寒着	夜間など風が吹くと、体感温度がグッと下がります。ウインドブレーカーなど、薄手で動きやすく防風性のあるアウターを用意できるとよいでしょう。
レインウェア	片手がふさがってしまうと、活動に支障をきたす場面が多いため、キャンプでは傘のみはNGです。防水透湿素材の上下があると、子どもたちは、雨をモノともせず元気に遊び回ります。 雨のキャンプが劇的に楽しくなる！レインウェア（雨合羽）の選び方 完全解説
水遊びの服装／サンダルなど	徒歩2～3分で海です。6月／7月にもなると子どもたちはどんどん海に入っていってしまいます。ラッシュガードなど水遊びができる格好を用意してください。アクティブな子は、ライフジャケットが必要です。まだライフセーバーはいませんので、死亡事故を起こさないよう、充分にご注意ください。
バスタオル／お風呂用品ほかアメニティ	キャンプフィールドには無料の温水シャワーがあります。車15分ほどのエリアに「 勝浦ホテル三日月 アクアパレス 」や「 勝浦つるんつるん温泉 」等がありますので、車参加の場合はご家族でぜひお出かけください。
お泊りグッズ	洗顔、歯磨きほか、任意のアメニティグッズ類



持ち物	説明
食器セット	カトラリー（はし、スプーン、フォーク等）、コップ、カレー皿、汁物用お椀があれば、大抵の状況に対応できます。素材は、メラミン製、ホーロー製、プラスチック製など、割れにくいもの。キャンプでは、なるべくゴミを減らすため、使い捨ては避けたいところですが、焚き火で焼却できる素材であればかまいません。
ハンギングドライネット	必須ではありませんが、洗った食器の乾燥／保管場所としてとても重宝します。Amazon等で千円台から購入できますので、入手してしまってもよいでしょう。例： https://amzn.to/3EKOGke
ネックライト	夜間のテント内や手元用の明かりです。スマートフォンのLED照明でも代用できますが、片手がふさがると不便なケースが多いため、気軽に首から下げておける、ネックライトをおすすめします。例： https://amzn.to/30Egzav
モバイルバッテリー	スマートフォン等の充電には、モバイルバッテリーの持参が必要です。なお、docomo、au、SoftBank主要3キャリアの電波は、問題なく通じます。
チェア、テーブル	車参加で、焚き火にぴったりのアウトドア用のチェアやテーブルがある方は、持参OK！※現地にイス、テーブルはありますので、必須ではありません
常備薬	<p>「はじめての親子キャンプ教室」運営チームでは、切り傷、擦り傷、火傷の軽微なものについては、湿潤治療の用意をしています。それ以外は、一切の治療・投薬行為をいたしませんので、通常の家族旅行・家族キャンプ同様に、各自で準備・対応をお願いいたします。</p> <p>必要に応じて各自で準備いただく物の例／保険証、解熱剤、鎮痛剤、下痢止め、化膿止め抗生物質、かゆみ止め、虫よけ、絆創膏、その他常備薬など。</p> <p>※御宿駅のすぐ目の前にドラッグストアもあります</p>



持ち物	説明
自宅で使用している枕 ／キャンプ用の携帯枕	<p>必須ではありませんが、特にお子さんは、枕が変わると、うまく寝付けないケースがあります。車参加の場合、自宅で使っている枕を持ち込むと、安眠できる可能性を高くできます。</p> <p>また、ご用意しているキャンプ用具に、枕は含まれません。Amazon等で、キャンプ用の携帯枕を購入するのもおすすめです。</p>
寝袋（シュラフ）	<p>キャンプ用具一式は、ご用意しています。寝袋のみ有料オプションとなります。</p> <p>購入する場合は、快適温度・使用可能温度をチェックします。夏季のみのキャンプであれば15℃対応で十分ですが、春・秋もキャンプをする場合は、5℃対応を目安としてください。</p> <p><u>パパ&ママのための寝袋・スリーピングバッグ・シュラフの選び方 完全ガイド</u></p>
虫除け	<p>現地の状況によりますが、蚊が現れてもおかしくない時期です。</p> <p><u>確実に効く！キャンプ&アウトドアでの最強「虫よけ」2製品</u></p>